

～イノシシに注意ください～

本来イノシシはおとなしい性格の臆病な動物で、普通の状態は人に襲いかかってくることはほとんどありませんが、興奮している時や至近距離で突然出会った場所などには、襲ってくることもあるので注意が必要です。

●イノシシに出会ったときは●

1 近づかない

- ・遠くでイノシシを見つけたときは、そのままイノシシから見えなところへ静かに離れてください。
- ・イノシシの子（ウリ坊）を見かけても、かわいいからと近づいたり追いかけてりしないようにしてください。近くに親イノシシがいることがあります。

2 ゆっくりと離れる

- ・通常の状態（人を気にしないでゆっくりと歩いている、エサを食べているなど）のイノシシと出会った場合は、イノシシの方から逃げていきます。あわてて走り出したりせずに、落ち着いて、速やかにその場から立ち去ってください。
- ・急に走り出したり後ろを向いたりすると、イノシシも驚いて思わぬ事故につながる可能性があります。
- ・イノシシの進路（通り道）はふさがないでください。

3 刺激しない

- ・イノシシは臆病な動物なので、こちらから何もしない限り、突然襲ってくることはほとんどありません。見かけても刺激を与えず、興奮させないことが大切です。
- ・イノシシと出会ったときに、大声を出したり、犬をけしかけたり、物を投げたり、棒で追い立てたりすると、イノシシが興奮して人を襲ってくる可能性もあるので、イノシシを刺激しないでください。（イノシシが興奮した状態とは、牙を鳴らして音を出している、毛を逆立てている、慌ただしく走り回っている、地面を脚でひっかいているときなどです。）

・イノシシがケガをしているときや、迷って住宅地等に入り込んだときには、興奮している可能性があるため、イノシシを見かけたら速やかに安全な場所（ブロック塀の裏や家の中など、イノシシから見えないところ）へ避難してください。

4 エサを与えない

- ・イノシシにエサを与えると、民家の近くに居ついてしまう可能性があります。小さな子どものイノシシでも、エサは絶対に与えないでください。
- ・民家の近くにイノシシのエサとなる野菜くずなどを放置すると、イノシシのエサ場になってしまう可能性があるため、放置しないようにしてください。
- ・栗・柿等の木につきましても、落ちてしまったものをエサとし、居ついてしまう原因となりますので、適宜収穫を行うか、不要な場合は伐採をするようにしてください。

5 犬の散歩に注意

- ・至近距離で出会ったときに犬を連れていると、猟犬と勘違いして襲ってくる場合があります。イノシシが向かってきたときは、犬を放すなど、十分に注意してください。

●イノシシを捕獲しようとししないでください●

イノシシの捕獲には許可が必要です。また、捕獲しようとする、イノシシを興奮させてしまうこととなります。上記のように危険がありますので、捕獲しようとししないでください。

イノシシを目撃した場合は、下記までご連絡いただきますようよろしくお願いいたします。

鹿嶋市市民生活部環境政策課

電話：0299-82-2911（内線352）

また、市では農作物被害対策として、イノシシ等の捕獲事業を行っております。農作物被害に係る相談につきましては、下記までご連絡いただきますようよろしくお願いいたします。

鹿嶋市経済振興部農林水産課

電話：0299-82-2911（内線382）